

# 速さへの挑戦 抜かれたら抜きかえす!!

オートマキジマム9月号は7月26日発売!!



▲ほぼオリジナルといえるボディ



▲リアもスポイラーが付く程度



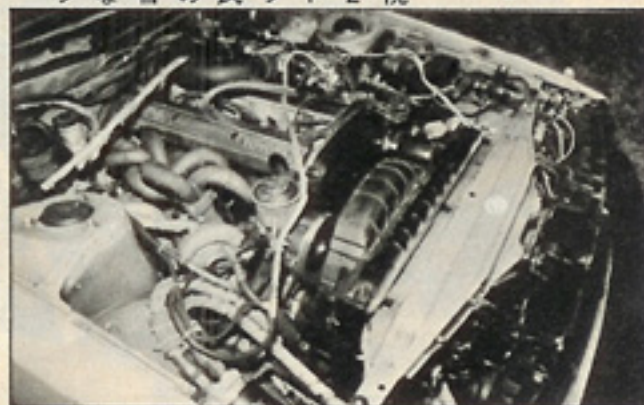
▲フロントもそのまま

ラマはその場に居た者すべての心に深く残るものだ。これが読者である君たちに伝わるかどうかは定かではないが、とにかく、居ても立ってもいられない。見たまま、感じのままの感動を君たちにも伝えたい。

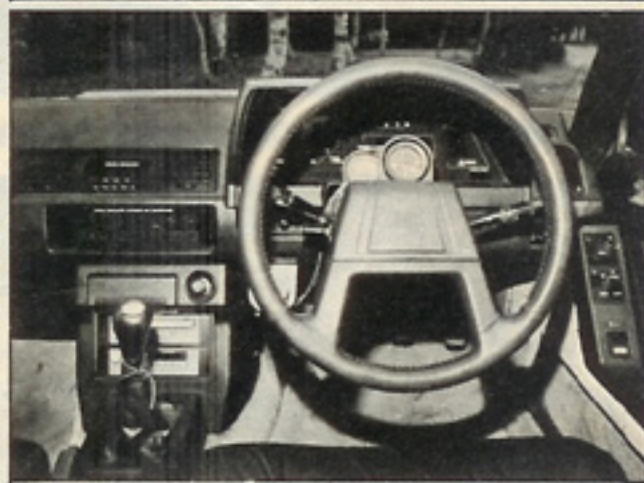
エンジン関係	ベースエンジン/トヨタ5M-GEU	マフラー/トラストオリジナル94φ
総排気量/2759cc		
ボア×ストローク/83×85mm		エクステリア
バルブ/ビックバルブ		リアスポイラー/ボルクエアロ
カム/1N280° EX280°		
ピストン/アリアス製ローコンプ83φ		足回り/トラスト製サスペンションキット
クランク/ノーマルバランス取り		タイヤ/Fグッドリッチ コンパT/A210/V R14 Rグッドイヤー-N C T235/60V R15
コンロッド/ノーマルバランス取り		ホイール/Fフオルテックス Rレーンシュポルト
燃焼室/ノーマル		ターボ関係パーツ/TVVC、トラスト製ウエストゲード オリジナルタコ足
タービン/三菱製TD-06×2		チューニング費用/250万円+
インタークーラー/トラスト製空冷スペシャル		
オイルクーラー/トラスト製		
インジェクター/250cc3本追加		
点火装置/トラスト製CDI		
プラグ/NGKレース用9番		

## 熱い想いが涙と なってる

凱旋したソアラから視線をそらす。そこには2人の男の姿があった。トラストの平田クンとアツシだ。本来ならば大川氏もこの場に居るはずなのだが、前日、宮城県の実生スポーツランドで行なわれたミラージユカップのため欠場していた。



▲ツインターボも凄いが、なにより凄いのはいんジェクション仕様であることだ。



▲サブメーターがプラスされる程度のインパネ

大川氏を欠いたこの谷田部最高速の大会を2人は背負っていた。時は戻るが、最高速日本新記録がタタキ出されたその時、2人は抱き合い飛び上った。それはもう感無量といった感じだ。

喜びで紅潮させ、目に涙を浮かべている、それだけである。何を言っているかはわからない。しかしそれは、言葉そのものではない。アツシが言いたいことは、だいたいわかる。全てがわからないのはアツシをはじめとする、トラストの苦勞である。我々がしているのは、出来上った状態、それを日本一の速さに仕立てるためには、数えきれない

いほどの徹夜、トライ&エラー、そして熱い想い入れ、そんなものが達成した喜びで一気に感動の涙となって吹き出した、そう取れる。

当日は、今号のVGT特集のために来てくれたRSヤマモト、山本豊史その瞬間まで日本一男だったトライアル、牧原道夫氏といった最高速トップグループの面々も居合わせた。そう、ライバルたちもこの瞬間を感じていたのだ。

本来ならば、「クソッ」のひと言でも出そうなのだが、実にこのライバルたちは爽やか、山本氏にしても、「本当に素晴らしい」と自分のことのように語っていたし、牧原氏はたまたまマシンのセッティング中であつたがために、記録が破られたことを伝えたが、キョトンとした表情で「ホンマに」のひと言。決してネタんだりすることもない。勝利を知った男たちだからこそ出来る態度である……。

アツシの涙、ライバルたちの祝福、そして新しいレコードの誕生。6月3日、午前6時46分。男たちはまた新たな目標に向かって走り続けなければならぬ。走り終えたソアラの前でトラストの平田クンが言った「本当に承かった——」。

なかった。記録を破られて見せているだけではあかんから、やるっきゃないね。年末までにはクルマを作つてもインジェクションでやるかなと時間がかりすぎるしなあ」

「良き友、  
大川クンに拍手」  
RE雨宮  
雨宮勇美



「やっぱり関西でなく東京のクルマで出てよかったあ。永年の友、大川クンの造ったクルマだけにうれしいね。ウチはさう、ゼロヨンに燃えてっから気にならないけど、ロータリーでウチの記録が破られたらまたやるっきゃないナ。」

「素晴らしい、  
でも次は俺だ」  
RSヤマモト  
山本豊史



「300g/hが出たのを見た時は素晴らしいと思った。やっぱりパワーが出てくるよね。タービンも三菱製でいいしね。年末にはVGT「型式」でも挑戦するヨ」でも、トラストのソアラもバケモノだけど、晴明ちゃんもバケモノだよ。」